

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

この部分は著作権の都合により公表できません

この部分は著作権の都合により公表できません

(栗田勇『日本文化のキーワード 七つのやまと言葉』による)

(注) ホイジンガIIヨハン・ホイジンガ。オランダの歴史家。『ホモ・ルーデンス(遊戯人)』において、遊戯こそが人間の本質に関わり、文化を生み出す根源だと主張した。

問一 著者は「遊び」という言葉についてどのように説明しているか。三〇〇字程度で要約しなさい。

問二 文中傍線部「日本の文化や文学においては、ハンドルの「あそび」に象徴されるこうした基本理念がひじょうに重要で、これこそ日本文化そのものだと言ってもいいほどである」とあるが、あなたは「日本の文化や文学」についてどのように考えるか。「遊び」という語を織り込んで、五〇〇字程度で自分の考えを述べなさい。

【解答例】

問一

(記述例) 日本語の「遊び」は、たんなる気晴らしや無為、あるいは狩猟や詩歌、管弦、舟遊びのような娯楽というだけでなく、もともとは神仏に感謝と祈りをこめて奉納する音楽や舞踏、神楽なども含まれており、日常性から離れ、自分を捨て、心身を解放して神仏と一体化する境地を意味した。そこには日本人の、深く真面目な生き方、時にはすべてを捨てて悔いない純粹な行動的エネルギーが秘められている。さらに「遊ぶ」とはいわば自主的に気ままに自分の思うようにすることでもある。他人に強制されて行動するのではなく、自分の意思と好みによってのみ行動することでもある。また、日本語では一見役に立たないようなゆるみや余裕のことも「あそび」という。(300字)

問二

(省略)

【出題意図】

問一 一定のテーマを持った文章を的確に理解・把握する力があるかどうか確認する。

問二 一定のテーマをもとに自分の考えをまとめ、それを適切な語彙・文法・構成等によって訴え、表現する力があるかどうか確認する。